

# 第5学年 体育科 学習構想案

日 時 令和4年1月27日(木) 第5校時  
 場 所 荒尾市立中央小学校体育館  
 指導者 教諭 坂口 主税

## 1 単元構想

単元名	技に挑戦！跳び箱運動		
単元の目標	(1) 跳び箱運動の行い方を理解するとともに、自己の能力に適した繰り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方を工夫し、事故や仲間の考えたことを伝えることができる。 (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取り組みを認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができる。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①繰り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に挑戦したりしている。 ②技を行う際のポイントを理解している。	①自分の能力に適した発展技を見付け、その習得の仕方を考えたり、技に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 ②課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①基本的な技や発展技に積極的に取り組んでいる。 ②学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ③準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ④わかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
自分の能力に適した基本的な技を安定して行ったりその発展技の練習に取り組んだりする中で、互いに助け合い、自分達で課題解決の仕方を工夫し、運動を楽しみながら積極的に取り組む児童。			
単元を通した学習課題（単元の中心的な学習課題）		本単元で働かせる見方・考え方	
・技を習得するには、どのようなポイントに気をつけて練習すればよいか考えよう。 ・チーム全員の技の完成度を上げるためには、どのようなところに注目して教え合うとよいか考えよう。		跳び箱運動の楽しさや喜びを味わわせることができるように、繰り返し系や回転系の技の動きを「する」、仲間の動きやその出来栄を「見る」、互いにアドバイスして「支える」、技のこつやポイントを「知る」といった、運動への多様な関わり方をしていく。	
指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時4/6）			
過程	時間	学習活動（「問い」を設定しても可）	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体の評価規準」
一	1	○オリエンテーション ・学習内容の確認 ・場作りの確認 ・サーキットの確認 ・安全の約束 ・試しの運動 ・片付けの仕方の確認	【知①】（観察・学習カード） 【態②③】（観察・学習カード）
二	2	○繰り返し系や回転系の基本的な技、発展技の運動を行う。 サークット うさぎ跳びまたは前転、ステージでの運動、倒立 プラクティス 自分の今の力でできる技の完成度を高める。 チャレンジ 抱え込み跳び、台上前転などの技に挑戦する。 班学習 ・班員同士で教え合い、班全体の完成度を高める。 ・できる技を動画で記録する。	★【思①】（観察・学習カード） ○実力に見合った技を、技に応じた場所を選んで練習している。 【態④】（観察・学習カード）  ★【知①】（動画） ○技のポイントを実践し、基本技ができる。 【態④】（観察・学習カード）
	2	○繰り返し系や回転系の発展技に挑戦する。 サークット うさぎ跳びまたは前転、ステージでの運動、倒立 プラクティス 自分の今の力でできる技の完成度を高める。 チャレンジ 発展技に挑戦して練習する。 班学習 ・班員同士で教え合い、班全体の完成度を高める。 ・できる技を動画で記録する。	★【思②】（観察・学習カード） ○互いの技を見て、技のポイントに基づきながら教え合っている。 【態①】（観察・学習カード）  ★【思①】（観察・学習カード） ○挑戦する技に応じて、練習の仕方や場作りを工夫している。 【態④】（観察・学習カード）
三	1	○グループでの連続跳びに挑戦する。	★【知②】（動画） ○選んだ技を安定して行っている。 【態④】（観察・学習カード）

2 本時の学習（4／6時）

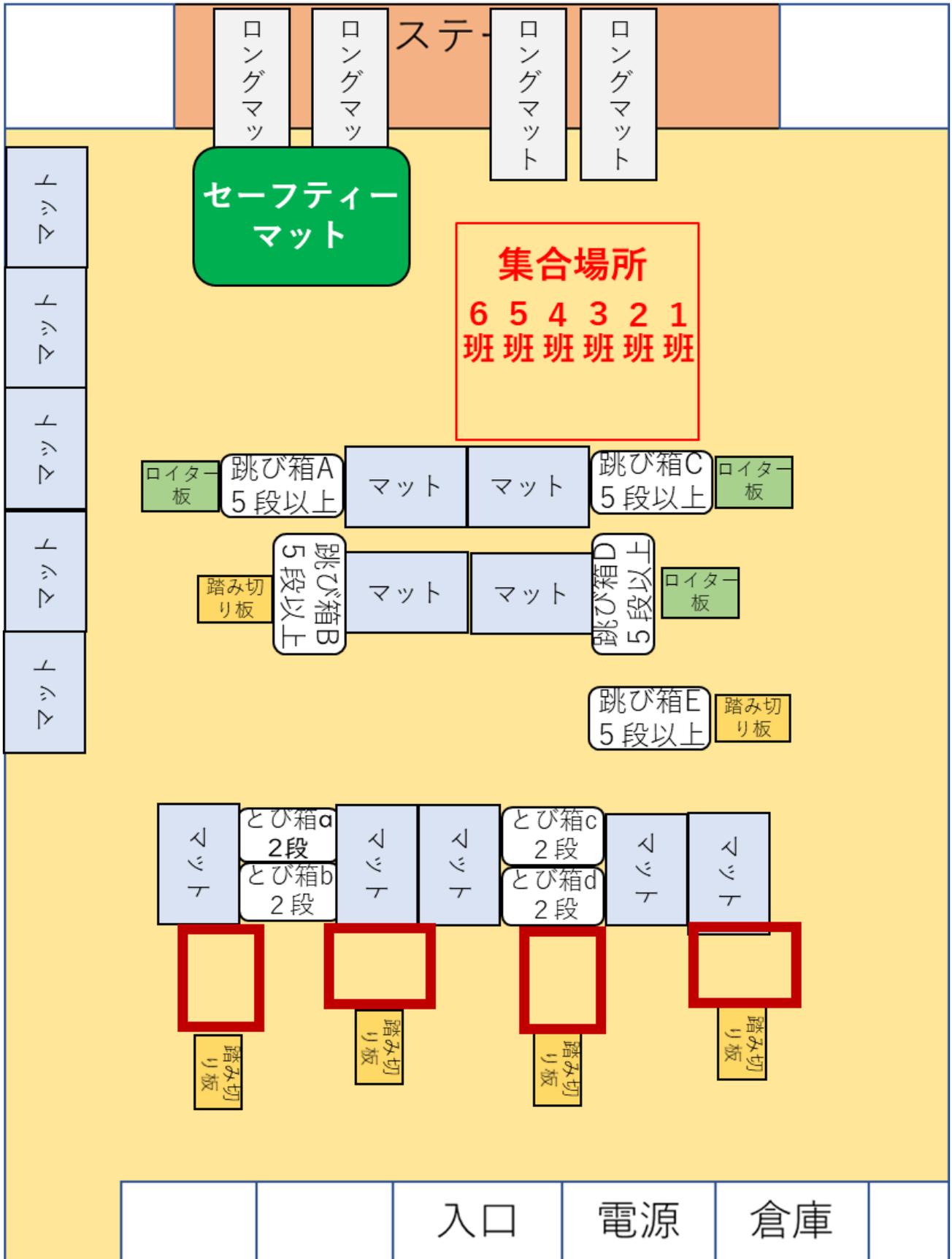
(1) 目標 発展技のポイントを知り、発展技に挑戦したり、ポイントをもとに教え合ったりすることができる。  
(思考・判断・表現)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	1 課題をつかむ。 ①準備運動・サーキットを行う。 ◇前転、ステージ、倒立に挑戦しよう。	○場の安全に留意しながら準備を行う。 ○3か所で1分間ずつ場に応じた運動を行う。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【めあて】 発展技のポイントを知って、挑戦したり教え合ったりしよう。</b> </div> ②技のポイントを確認する。 ◇手の位置、腕の伸ばし、体の反らしに気をつけよう。	○前時までを振り返り、発展技との共通点を考えさせる。 ○模範演技を参考に、ポイントを押さえる。
展開	30分	2 課題解決に向けて活動する。 ①自分の力に合った技を、適した場所で個人練習する。(3分) ◇この前できた場所で練習してみよう。 ◇手の位置を意識してみよう。	○自分の力に見合った場所で安全に練習に取り組むように指導する。 ○必要に応じて、タブレットを活用することを伝える。
		②自分の実力よりも少し高い難度の技を、適した場所で個人練習する。(5分) ◇もう少し勢いをつけると綺麗に回れるかな。 ◇ここでチャレンジしてみよう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【中間評価】 児童が技の練習で実践しているポイントを紹介することで、教え合い活動での着眼点に結び付けたい。</b> </div> ③班員の技の完成度を高めるために、場を工夫しながら練習したり教え合ったりする。(10分) ◇腰を勢いよくあげると、回れるよ。 ◇手を真ん中につくようにするといいよ。 ◇腕を伸ばして、はねるよ。 ◇はねたら、体を反らすよ。	○無理に発展技に挑戦する必要はなく、実力に応じた技を選択するように指示する。 ○技に応じて、場を作り変えてもいいことを伝える。 ○導入で示したポイントが実践できているか観察を行い、実践できている児童を撮影しておく。 ○撮影した動画をもとに、技のポイントについて再確認する。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>【まとめ】 手をつく位置、腕の伸ばし、体の反らしに気を付けて練習すると良い。</b> </div> ④場の片づけを行う。 ◇グループで道具を片付けよう。	○補助の仕方や安全面の指導を事前に行い、児童が安心して取り組めるようにする。
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>【具体的評価基準】 思②</b>  <b>○互いの技を見て、技のポイントに基づきながら教え合っている。</b>  <b>(方法：観察・ワークシート)</b> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <b>【到達していない児童への手立て】</b>            ○板書や模範演技の動画を参照させる。            ○相手の技を観察して、気づいたことはないかポイントに従って尋ねる。         </div>
終末	5分	3 めあてに対する振り返りをする。 ①今日の学習を振り返る。 ②次回のめあてを考える。	○振り返る視点を明確に示す。 ○学習カードに振り返りを記入する。

# フォーメーション A'

授業前にこの状態にする



# フォーメーション B'

Practice の前にこの状態にする

